

## 2013年度春季大会の専門分科会の実施方式とコンピーナー募集

### 1. 2013年度春季大会の専門分科会の実施方式

2013年度春季大会の専門分科会については、これまでと同じように下記の要領で実施される予定です。

- (1) 2回に分けてそれぞれ数件ずつ開催する（期日は未定、時間は3時間程度の予定）。分科会の運営はコンピーナーに委ねることにし、コンピーナーは公募する。分科会に申し込まれた講演の採否はコンピーナーの判断による（不採用の場合は、申込者の希望に応じて一般口頭もしくはポスター発表への振替になる）。コンピーナーのアレンジによる招待講演も可能、招待講演のみの分科会も認める。
- (2) 分科会の数は一日2～3件を基本に考えるが、申込が多かった場合は、「同一会場での一日に2件の

開催」、「類似テーマのものとの共同開催」、「大会会場外の会場の利用」等の調整を行う予定である。

今後のスケジュールは以下のように予定しています。

10月9日（火）：分科会のテーマとコンピーナーの募集締切（詳細は下記）

12月上旬：大会告示（「天気」12月号に掲載）

2月上旬：講演申込締切

2月下旬：プログラム編成

**補足：**会期は2013年5月15日（水）～18日（土）、会場は国立オリンピック記念青少年総合センター（東京都渋谷区代々木神園町）の予定です。

## 2. 分科会のコンピーナー募集

上記の実施方式に基づき、2013年度春季大会における分科会のテーマとコンピーナーを募集します。コンピーナーには、分科会の企画から実施まで全般にわたる世話を担当して頂きます。主な役割としては、

- ・テーマの立案、応募
- ・講演申込の受付、プログラムの作成（招待講演の設定、講演持ち時間の配分、座長の手配等を含む）
- ・大会当日の分科会の運営
- ・大会終了後の報告原稿作成（感想および400～800字のレポート）

があります。これらを円滑に進めるため、コンピーナーは分科会ごとに複数の方をお願いします。またプログラム編成期（2013年2～3月）には、講演企画委員会と常時連絡がとれるようにして下さい。

応募に当たっては、以下の点に留意して下さい。

- (1) テーマは「メソ」「気候」のような漠然としたものではなく、実質的な議論を深めるという分科会の目的に沿うよう、テーマを絞り明確なコンセプトを持つものにして下さい。なお、テーマは講演企画委員会が適宜調整し、理事会での承認を受けるものとします。
- (2) 大会方式についてのアンケートなどでは「分科会の性格を明確にしてほしい」という要望があります。「最先端の話題について議論を深める」という性格の分科会の他に「啓蒙的な性格で、主に情報提供を目的とする」分科会もあって良いですが、いずれにせよ「趣旨説明」の中で分科会の目指す方向を明確にさせていただくようお願いします。
- (3) 分科会の割り当て時間は3時間程度です。講演持ち時間はコンピーナーの判断に任せます。ただし、分科会が単なる「時間の長い口頭発表セッション」に終わることのないよう、議論の時間を十分に確保して下さい。

(4) 招待講演も歓迎します。その内容は必ずしも original paper である必要はありません。招待講演者がすでに決まっている場合にはこれを「趣旨説明」に書くなど、申込者への情報提供を図って下さい。

(5) 分科会会場の収容人数はそれぞれ100～200人の予定です。

## 3. 申込方法

以下の事項を明記して郵便もしくは E-mail で申し込んで下さい。

- (1) 分科会のテーマ
- (2) 分科会の趣旨説明（200～400字）
- (3) コンピーナーの氏名・所属および代表者1～2名の連絡先（電話・Fax および E-mail）
- (4) (1)～(3)の英語表記

上記(1)～(3)は連絡先を除き「天気」12月号に掲載されます。要望があれば連絡先も掲載します。英語表記のものは学会ホームページに掲載予定の英語版大会告示の中で使用します。

## 4. 申込先

〒305-0052 茨城県つくば市長峰1-1  
 気象研究所予報研究部  
 講演企画委員会  
 E-mail:kouenkikaku2013s@metsoc.jp

## 5. 申込期限

2012年10月9日（火）必着

## 6. テーマの採択

応募されたテーマは講演企画委員会で採否を審査した後、常任理事会の承認を受けて正式に採否が決定されます。